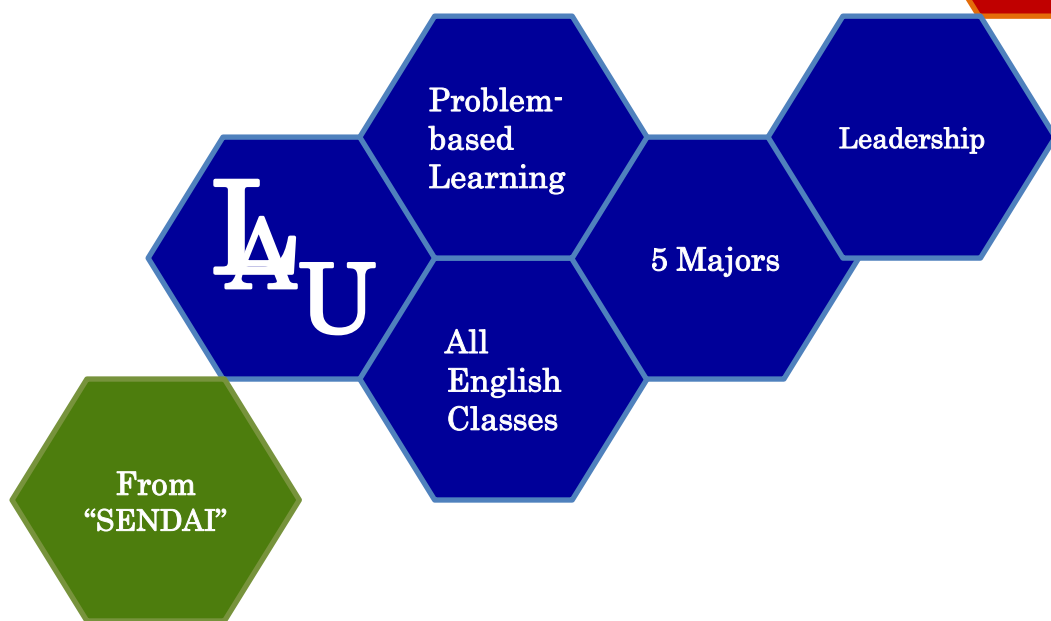




日本教養大学

国際教養学部 国際教養学科 (仮称)

Global
CITIZEN



※ 2018年4月開学に向け 設置構想中

本資料に記載されている内容は構想中であり、一部または全部を変更する可能性があります。

新しい時代を生きる若者へ

新しい「国際・リベラルアーツ」による学士教育を

日本経済の成熟化に伴い、横並びの時代が終焉を迎え、業界の枠を超えて各社がしのぎを削る大競争時代。テクノロジーは飛躍的に進歩を続け、知識や技能は急速に陳腐化し、誰もが常に学びを継続する時代。グローバル化が進み、人や組織の国境を越えた移動が当たり前前の時代。

このような時代を生きる若者に本当に必要な教育を行いたい。そう考え、LAU構想は始まりました。

求められる人材は、広い視野を持ち、諸問題を創造性を持って解決していける人材。解決策を自らハンズオンで実行するリーダーシップを持った人材。生涯学び続ける力を持つ人材。そして、国境を越えた問題解決を行うために、国際語・英語での高度コミュニケーションをとれる人材。異文化の中で、異文化を理解し、対応していける人材。

どれか一つでなく、すべてをバランスよく。「粗削り」であっても本気で努力したい学生に本気で応え全力で育て上げていく。これが、「国際・リベラルアーツ教育」を届けるLAUの思いです。

理事長 橋本綱夫

学生を育て磨き上げる LAU メソッド (予定)

LAU Method 1

Campus Environment

【キャンパスの公用語は英語】

- 講義、教職員との会話まで英語を使用
- 英語MUST環境で確実に英語によるコミュニケーション能力を養成

【多文化共生キャンパス】

- 外国人教職員比率30%、留学生比率20%が目標
- 違ったバックグラウンドを持つ学生・教職員と日々の異文化摩擦が生じる

【留学支援】

- 学生の留学を支援するため全ての学生に留学奨学金を給付
- 留学の必要性は学生が主体的に判断(任意留学)

LAU Method 2

Teaching Methodology

【少人数・双方向授業】

- 15名~20名程度の少人数授業を基本
- 教員と学生と双方向のコミュニケーションをとって学ぶ

【主体的学修】

- 事前学修やアサインメントをとって主体的な取組を支援
- プレゼンテーションなど自分の考えを発信することで、創造的問題解決能力を高める

【グループ学修】

- グループアサインメントなどグループ学修を支援し、チームワーク・リーダーシップを養成

LAU Method 3

Curriculum

【ELAPプログラム】

- 英語によるキャンパスライフ・講義についていけるよう入学後より最大1年間英語プログラムを実施
- 英語の修得だけでなく、クリティカルシンキングも学ぶ

【リベラルアーツ基盤教育】

- 多様な学問分野を関係性の中で学び幅広い視野を広げる
- 多様な学問のレンズを通して分析・批判的思考力を高める

【メジャー】

- Later Specializationに基づき、基盤教育を通し関心ある分野についてメジャーを選択し理解を深める
- メジャーは多様性が重要。開学時点では起業・経営学、国際関係、英米研究、日本研究、観光学を予定(将来、追加を予定)

Freshman

Sophomore,
Junior&Senior

Junior&Senior

教育方針（予定）

日本教養大学（仮称）は、「Global Citizen」を輩出することを目的に「3つの方針」を定め、取り組んでいく。

入学者受け入れの方針 (Admission Policy)

英語を基礎とし、国際・リベラルアーツ教育を修得することにより、国際的な場で活躍できる学力、耐力を持つ人材を育成する観点から、

1. 少人数教室授業において、主体性を持って他人を説得し、多様な人々と協力して問題を発見し、解を見出していく「能動的学修」に貢献できる者
 2. 「粗削り」であっても、積極的に学ぶ意欲と能力を有する者
- を受け入れる。

上記の学生を受け入れるための選抜方法として、以下の2つの入試方式を取り入れる。

- ① アドミッション・オフィス入試
- ② 大学入試センター試験利用入試

教育課程の編成方針 (Curriculum Policy)

本気で努力したい学生の潜在能力を引き出し、国際社会に飛躍できるよう徹底して磨き上げるために学位授与の方針で示した「学修成果」を実現できるように以下の教育課程を編成し、実施していく。

日本語学修科目以外の科目は、英語で授業を行う。このため、

1. Freshman: 履修するELAP (English for Liberal Arts Program)で、「英語で」学ぶための英語を学修。
2. Sophomore: 英語で、学際横断的に基盤教育のうち導入科目を学修。
3. 学生の興味に応じてメジャー（専修分野）を見据えた上で、基盤教育のうち中級科目を学修。
4. Junior/Senior: メジャーで「学際的課題解決型学修」(Multidisciplinary Problem-based Learning)による実務に即した課題により実践力を築く。これは、多様な学問領域での学修を通して知識の有機的な結合をはかるためである。

学位授与の方針 (Diploma Policy)

定められた課程を修了し、下記の学修成果を挙げた者に学士（国際教養学・予定）を授与する。

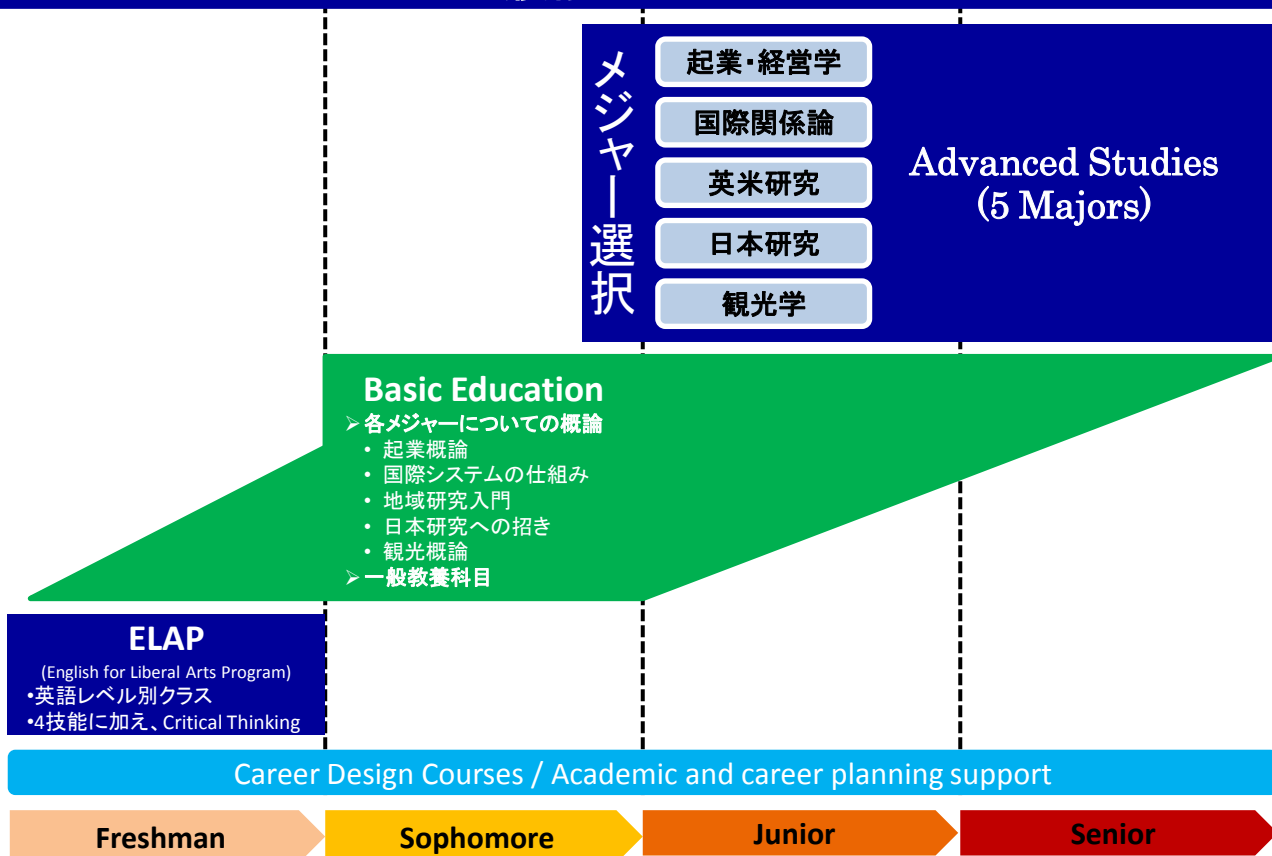
教育研究上の目的

グローバル化、多極化が進行し不確実性の高まりつつある社会において、多文化共生環境を理解したうえで、リーダーシップを発揮しながら、既存の枠組みではとらえがたい諸問題を、早期に発見・分析し、創造的に解決できる人材を育成する。

学修成果

1. 世界標準言語である英語により国際的に交流可能な言語運用能力
2. 異文化環境下で異なる価値観を理解できる能力
3. 論理的・批判的な思考力を基礎に、問題を発見・解決していく能力
4. 効果的なプレゼンテーションによる説明能力
5. 国際社会が直面する課題を主体的に発見・分析し、創造的に解決できる能力

履修モデル（予定）



LAUの「国際・リベラルアーツ教育」とは

- 社会構造の変化
- 求められる人材像
- 大学の役割

リベラルアーツ

日本社会の成熟化に伴い
横並びの時代の終焉
業種の枠を超えた競争

- 広い視野を持ち、創造的問題解決能力を持つ人材
 - 分析・批判的思考
 - 問題発見・意思決定力
- リーダーシップを持ち変革を起こせる人材

- 幅広い視野を養う基礎科目
- 関心に応じて選択できる多様なメジャー
- 少人数・双方向授業
- 主体的学修・グループ学修
- 一体感を失わない小規模・シティーキャンパス



国際

グローバル化の進展
人・組織の国際的移動

- 国際語である英語による高度なコミュニケーション能力
- 異文化に対する理解と対応力

English-based Degree Program

- 授業を含む学内使用言語を英語とする
- 教員・職員・留学生の外国人比率を高めた多文化共生キャンパス

LAUは、3学期制（予定）

1. 少ない同時進行科目（1学期に5～6科目）を、週複数回（週2～3コマ）受講することで集中学修が可能。
2. 履修科目選択機会が4年間で12回と多く、幅広い教養教育に相応しい、多様な学修が可能。
3. 専門性を築きあげていく積み上げ式時間割編成の基本となる履修前提科目（prerequisite）のうち、基礎科目は複数学期で開講する。これにより興味の変化に応じて履修計画を柔軟に変更でき、メジャーをじっくり選択可能な”Later Specialization”を実現。
4. 夏季休業が7月中旬からであるため海外の夏季プログラムへの参加が容易。

日本教養大学（仮称）構想概要

設置者 学校法人東北外語学園
 学部学科 国際教養学部 国際教養学科（仮称）
 学位名 学士（国際教養学）（予定）
 収容定員 400名（入学定員100名）
 開学予定年度 2018年4月
 学期制度 3学期制（70分授業10週間、試験週間）
 週2～3コマ（月水金、火木開講）
 所在地 仙台市青葉区五橋（JR仙台駅徒歩10分）

■お問い合わせ
 学校法人 東北外語学園
 大学設置準備室
 〒980-0022 仙台市青葉区
 五橋二丁目1-13
 022-222-8659
 Email:
 daigaku@tohokugaigo.ac.jp
 http://www.tohokugaigo.ac.jp
 /topic/univ.php

2015/7/1



東北外語学園の起源と沿革

1946年、将来の国際用語である英語を学びたいと希望する若者を対象に、旧制二高名誉教授鈴木紀一郎、同土井林吉（晩翠）、東北帝国大学の名誉教授土井光知ら有識者により学校設立の申請を行い、「東北外国語学校」を設立した。

現在、東北外語学園（理事長 橋本綱夫）は、

- 東北外語観光専門学校
- 3幼稚園（利府おおぞら、利府第二おおぞら、せいがん）
- 3保育園（利府おおぞら、利府葉山、利府第二おおぞら）

を設置している。

西暦	概要
1946	「東北外国語学校」設立
1976	東北外国語専門学校設置（専修学校法制定による）
1980	学校法人東方学園認可
1981	利府おおぞら幼稚園設置
1990	利府第二おおぞら幼稚園設置
1995	学校法人東北外語学園へ変更
2007	利府おおぞら保育園設置
2008	利府葉山保育園設置
2010	東北外国語専門学校を東北外語観光専門学校へ校名変更
2011	利府第二おおぞら保育園設置
2015	せいがん幼稚園設置